



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 もしもしホットライン  
コード番号 4708 URL <http://www.moshimoshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹野 秀昭

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 和田 謙司

TEL 03-5351-7200

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	71,393	23.5	5,868	24.3	5,974	23.5	3,250	27.1
23年3月期第3四半期	57,820	3.6	4,720	△12.4	4,839	△12.1	2,558	△18.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,212百万円 (27.4%) 23年3月期第3四半期 2,522百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	47.17	47.17
23年3月期第3四半期	37.13	37.11

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	46,999	35,305	75.1	512.26
23年3月期	46,569	34,057	73.1	494.15

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 35,305百万円 23年3月期 34,057百万円

(注) 1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産につきましては、平成23年10月1日を効力発生日とする普通株式1株を2株に分割する株式分割が、前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。なお、詳細につきましては、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	26.00	—	30.00	56.00
24年3月期	—	27.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.50	45.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

24年3月期(予想)の配当金につきましては、平成23年10月1日を効力発生日とする普通株式1株を2株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額は64円00銭(第2四半期末27円00銭、期末37円00銭)となります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	16.8	8,000	16.1	8,100	14.8	4,400	15.5	63.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	69,503,040 株	23年3月期	69,503,040 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	582,036 株	23年3月期	581,992 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	68,921,033 株	23年3月期3Q	68,892,577 株

(注) 上記の株式数につきましては、平成23年10月1日を効力発生日とする普通株式1株を2株に分割する株式分割が、前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）のわが国経済は、震災復興関連の需要が徐々に顕在化しているものの、欧州債務問題の深刻化に伴う欧州経済の低迷、アジア経済の減速、多くの国内企業が進出しているタイにおける洪水被害等、先行き不透明感が強く、足踏み状態が続きました。

当社グループが提供する企業向けBPO（Business Process Outsourcing）サービスは、新規かつ大型の継続性需要は低調であったものの、リーマン・ショック以降縮小傾向が続いていた金融向けサービスに下げ止まり感が出始める等、既存業務売上高が総じて底堅く推移しました。また、一部バックオフィス業務が生産性の改善から、想定を超える売上高の拡大を見せたほか、新たな大型業務も動き出し、好調に推移しました。

利益面でも、前年の第3四半期（3ヶ月）業績が新規バックオフィス業務受託に伴う先行費用発生に伴い低水準にとどまった一方で、当期は同業務の生産性改善が図られたこと、新たな大型業務の受託から、人員稼働率の向上が図られたこと、また当第3四半期（3ヶ月）はすべての連結子会社が黒字転換し、前年同期比較でも改善が図られたこと等の要因により、好調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高71,393百万円（前年同期比 23.5%増）、営業利益5,868百万円（同 24.3%増）、経常利益5,974百万円（同 23.5%増）、四半期純利益3,250百万円（同 27.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①テレマーケティング事業

インバウンドサービスは、一部通信や放送向けサービスにおいて、お客様企業のコールセンター体制変更に伴って規模が縮小したものの、製造、流通向け等の新規業務の売上貢献でカバーできたこと、また前年度下期から当社グループに加わった㈱ウィテラスの売上高が当期は期初から売上貢献したこと等から、同サービスの売上高は30,811百万円（同 5.8%増）となりました。

アウトバウンドサービスは、低採算が続いている通信向けアウトバウンド業務において選別受注を強化していることを主因として、同サービスの売上高は5,825百万円（同 15.1%減）となりました。

テレマーケティング関連サービスは、リーマン・ショック以降縮小基調が続いていた金融向けサービスに下げ止まり感が出始めたほか、昨年度第4四半期から本格的な売上寄与が始まったバックオフィス業務が引き続き高水準を保ったことから、同サービスの売上高は27,117百万円（同 75.5%増）と大きく拡大しました。

#### ②フィールドオペレーション事業

フィールドオペレーション事業は、昨年度下期から主力の官公庁向け業務の受託地域が拡大したことに加え、当第3四半期（3ヶ月）に大型業務を受託したことから、同事業の売上高は7,185百万円（同 32.1%増）となりました。

#### ③その他

インターネット・マーケティング関連売上高で構成されておりますが、その売上高は453百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、46,999百万円となり、前連結会計年度末比429百万円の増加となりました。これは主として、事務所移転に伴う有形固定資産の取得、敷金の差入れ、及び資金運用を目的とした預け金が増加したことによるものです。

負債は11,693百万円となり、前連結会計年度末比818百万円の減少となりました。これは主として、賞与及び法人税等の支払を行ったことによるものです。

なお、純資産は35,305百万円となり、自己資本比率は75.1%となり、前連結会計年度末から2.0ポイント増加しました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月4日に通期業績予想の上方修正を行いました。その後、一部バックオフィス業務の生産性向上から処理量が想定以上に拡大し、それに伴い同業務向け売上高の伸長に寄与していること、加えて新たな大型業務を受託したこと等、事業環境の変化を加味し、売上高を96,000百万円（前年比 16.8%増）、営業利益8,000百万円（同 16.1%増）、経常利益8,100百万円（同 14.8%増）、当期純利益4,400百万円（同 15.5%増）へと再度修正することといたしました。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

当社は、平成23年10月1日を効力発生日とした普通株式1株を2株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び前連結会計期間末の1株当たり純資産は以下のとおりであります。

（前第3四半期連結累計期間）

1株当たり四半期純利益金額	74円26銭	
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		74円22銭

（前連結会計期間末）

1株当たり純資産額	988円31銭
-----------	---------

## (4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,244,215	10,102,788
売掛金	10,563,504	10,620,770
仕掛品	3,152,638	2,975,151
貯蔵品	31,852	13,716
預け金	11,000,000	12,000,000
その他	1,695,097	1,190,618
貸倒引当金	△10,996	△10,363
流動資産合計	36,676,312	36,892,681
固定資産		
有形固定資産	2,806,646	2,579,324
無形固定資産		
のれん	144,443	35,206
その他	149,130	134,949
無形固定資産合計	293,574	170,155
投資その他の資産	6,793,297	7,357,363
固定資産合計	9,893,517	10,106,842
資産合計	46,569,830	46,999,524
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,923,550	2,010,055
未払金	5,618,598	5,597,339
未払法人税等	1,989,141	710,939
賞与引当金	619,138	329,723
役員賞与引当金	37,900	29,199
資産除去債務	36,507	27,145
その他	938,679	1,573,632
流動負債合計	11,163,516	10,278,036
固定負債		
退職給付引当金	309,372	392,575
役員退職慰労引当金	42,157	42,157
資産除去債務	902,934	921,392
その他	94,214	59,782
固定負債合計	1,348,678	1,415,908
負債合計	12,512,194	11,693,944

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	998,256	998,256
資本剰余金	1,202,750	1,202,750
利益剰余金	32,573,520	33,860,031
自己株式	△592,284	△592,315
株主資本合計	34,182,242	35,468,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△119,957	△156,083
為替換算調整勘定	△4,648	△7,059
その他の包括利益累計額合計	△124,606	△163,142
純資産合計	34,057,636	35,305,579
負債純資産合計	46,569,830	46,999,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	57,820,279	71,393,356
売上原価	48,009,224	60,068,560
売上総利益	9,811,055	11,324,795
販売費及び一般管理費	5,090,805	5,455,957
営業利益	4,720,250	5,868,838
営業外収益		
受取利息	49,604	31,885
受取手数料	26,599	30,867
その他	59,973	54,686
営業外収益合計	136,177	117,439
営業外費用		
支払利息	1,717	3,770
持分法による投資損失	12,355	5,785
その他	3,120	2,521
営業外費用合計	17,193	12,077
経常利益	4,839,233	5,974,200
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,390	—
受取補償金	—	55,510
その他	—	8,082
特別利益合計	3,390	63,592
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	271,025	—
災害による損失	—	103,489
事務所移転費用	—	73,923
その他	40,742	62,022
特別損失合計	311,767	239,436
税金等調整前四半期純利益	4,530,856	5,798,357
法人税、住民税及び事業税	1,802,589	2,170,361
法人税等調整額	170,148	377,235
法人税等合計	1,972,738	2,547,596
少数株主損益調整前四半期純利益	2,558,118	3,250,760
四半期純利益	2,558,118	3,250,760



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,558,118	3,250,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,851	△36,125
為替換算調整勘定	△6,251	△2,411
その他の包括利益合計	△36,102	△38,536
四半期包括利益	2,522,015	3,212,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,522,015	3,212,223
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	テレマーケティング事業	フィールドオペレーション事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	51,428,367	5,441,072	56,869,440	950,839	57,820,279	—	57,820,279
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	96,218	228,985	325,203	1,939	327,142	△327,142	—
計	51,524,586	5,670,057	57,194,643	952,778	58,147,422	△327,142	57,820,279
セグメント利益 又は損失(△)	4,806,935	△22,414	4,784,520	△59,402	4,725,118	△4,868	4,720,250

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理等による収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	テレマーケティング事業	フィールドオペレーション事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	63,753,983	7,185,791	70,939,775	453,581	71,393,356	—	71,393,356
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	162,410	14,699	177,109	400	177,509	△177,509	—
計	63,916,393	7,200,491	71,116,884	453,981	71,570,866	△177,509	71,393,356
セグメント利益 又は損失(△)	6,007,219	△123,143	5,884,075	△16,696	5,867,379	1,458	5,868,838

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理等による収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。